職務経歴書

候補人材：YT

2024 年 7 月

職務要約

1981 年、チッソ株式会社（現 JNC 株式会社）石油化学部門の研究所に配属、塩化ビニル用可塑剤の開発チームに所属。新規可塑剤の合成及び物性評価を担当。その後 2 年間、相模中央化学研究所に出向。農薬開発及び白金系抗腫瘍剤の開発に従事。農薬は上市。2001 年度農薬学会賞受賞。帰任後、市原製造所での現場経験を経て、市原研究所グループリーダーとしてオキソ製品の開発・上市に関わる。オクチル酸、イソブチルアルデヒド誘導体（テキサノール、TXIB）のプロセス開発、プラント建設。2002 年、東京本社化学品事業部に異動。新規製品開発を担当。代表的な成果として他社数社との協業により液晶材料を開発、製造、上市に繋げる。2006 年より技術部長、2010 年より水俣研究所長、2012 年より半導体分野への参入を目的とした材料開発を推進する事業開発室長を拝命、ArF 用フォトレジストモノマー、半導体製造装置用クリーニンガス、シリコンウェファー表面処理剤開発のマネージメントを担当。

2017 年 4 月より嘱託として事業部の技術顧問を務める。光学材料ポリカーボネート用特殊ジオール、香料、生分解性樹脂原料モノマー、5G 関連材料、化粧品原料、レムデシビル原料等に携わる。2021 年 2 月に退職し現在はコンサルタント業を営む。

アピールポイント

新型コロナウィルス治療薬レムデシビルの原料である 2－エチル－ 1 －ブタノールの製造（JNC は世界で唯一の製造メーカー）、また、危険性の高いオキソガス、ケテンガスの二つのガスを利用し、液晶、フォトレジスト等の様々な機能性化合物の開発・製造を行ってきました。最近では MGC と共同でスマホレンズ用光学材料である脂環式ジオールの製造、シリコンウェーファの表面処理剤の高純度化技術開発など、JNC での経験と知識の価値は極めて高いと自負しています。

職務経歴

JNC 株式会社東京本社(2011 年 11 月～現在)

開始	部署	役職	業務内容
2011 年 11 月	化学品事業部 事業開発室	室長→技術顧問（2017 年 4 月～）	・半導体材料開発および上市推進：フォトレジストモノマー、半導体製造装置用環境対応型クリーニンガス、半導体用ウェファー表面処理剤、絶縁膜材料 ・化学品事業部既存事業強化 ・新規テーマ探索（PC 用特殊ジオール等）

JNC 株式会社水俣研究所(2010 年 4 月～2011 年 11 月)

開始	部署	役職	業務内容
2010 年 4 月	水俣研究所	所長	・研究所統括（テーマ推進、人事管理、品質管理)

JNC 株式会社東京本社 (2002 年 6 月～2010 年 4 月)

開始	部署	役職	業務内容
2006 年 4 月	化学品事業部	技術部長	・事業部の研究、製造、品質の技術的総括 ・他社との協業体制による液晶材料開発(液晶減粘材料)マネージメント、新規テーマ推進（酢酸プロピル、酢酸エチル、安全ガラス中間膜用可塑剤、ジオール、イソアミルアルコール、アセチルアセトン、グリセリン誘導体、酸無水物、ケトン、等)
2002 年 6 月	化学品事業部	技術スタッフ	・上記事業部の研究、製造の技術担当

JNC 石油化学株式会社 (1994 年 10 月～2002 年 6 月)

開始	部署	役職	業務内容
1994 年 10 月	市原研究所	グループリーダー	・上記化学品事業部市原研究所担当 ・製造部門支援 ・研究者育成
1992 年 5 月	市原製造所	製造部係長	・可塑剤製造(DOP、DINP、DBP、DOA)プラント管理 ・アルデヒド誘導体プラントのマネージメント（ケトン、テキサノール、TXIB)
1987 年 11 月	市原研究所	研究員	・農薬原体のプロセス開発 ・オキソ誘導体（ジオール）用途開発

相模中央化学研究所出向 (1985 年 5 月～1987 年 11 月)

開始	部署	役職	業務内容
1985 年 5 月	第 1 研究班 有機金属研究室	研究員	・農薬開発 ・白金系坑腫瘍剤開発

JNC 石油化学株式会社(1981 年 10 月～1985 年 5 月)

開始	部署	役職	業務内容
1981 年 10 月	市原研究所	研究員	・塩ビ用可塑剤開発(合成と評価)（耐水性ポリエステル可塑剤、耐熱性可塑剤) ・製造部門サポート(合成、分析、論文検索等)

活かせる経験・知識・技術

- 石油化学製品の製造プロセスに関する知識
- 塩ビ用可塑剤の構造と性能に関する知識
- ケテン反応に関する知識
- オキソ反応およびアルデヒドの化学に関する知識
- 論文・特許情報検索能力
- 化学製品のコスト計算能力

資格

- 高圧ガス保安者(甲種化学) (1990 年)
- 公害防止管理者(大気第 1 種)(1990 年)
- 公害防止管理者(水質第 1 種)(1985 年)
- 危険物取扱者(甲種) (1985)
- TOEIC: 735 点 (2015 年 8 月)

自己ＰＲ

総合化学会社に勤務し、これまで研究・開発、製造、企画部門を経験、同時に国内外のメーカー、ユーザーとの情報交換を通じ、多くの人脈を構築してきました。特許・論文調査、製造プロセス構築、設備投資・コスト試算を踏まえた開発品の競争力の判断、また他社との協業も多く経験したことで、多方面でのビジネスチャンスを取り込むことができると考えています。